

- 問一 ①義務 ②しなん ③かくぜつ ④眺 ⑤降伏(降服も可) ⑥到底
⑦推定 ⑧看護 ⑨きゆうち ⑩しかばね ⑪でいねい(ぬかるみも可)
⑫きが ⑬極限 ⑭だんがい

問二 A さんと B もちろん C 決して D はるかに E そのために

- 問三 ① × ② × ③ ○ ④ ×

問四 「死ぬ思い」とは亡くなった人が死んでいったときに感じた思いで想像することもできないが、「死ぬような思い」とは九死に一生を得て生き残った人が感じた思いであり、その差ははかり知ることができない。(九五字)

・文意に沿って「死ぬ思い」と「死ぬような思い」の違いが説明されているか。

問五 広島原爆で一瞬にして爆死したのとは異なり、沖縄戦で犠牲になった人々は極限状況に追いつめられて、敵弾で爆死、集団自決、壕の中で殺害、船上で撃沈、銃殺、餓死などあらゆる人間の死にざまをした。(九四字)

・文中の沖縄戦の事例が用いられていること。
・「一瞬にして爆死した」広島原爆との対比で沖縄戦では「あらゆる人間の死にざまをした」ことが言及されていること。

問六 沖縄戦で亡くなった人たちの死ぬ思いを知ることが困難であるが、沖縄戦の歴史的事実をくわしく知った上で、どんな思いをして亡くなったのかを想像することは、苦痛を伴いながらも、戦死者の死ぬ思いに迫ることができると思う。戦争体験者の証言や戦跡を歩いて戦死者が死に至ったプロセスを追体験することなどを手がかりに、想像力を駆使して、戦死者の死ぬ思いに近づく努力を続けることが戦争体験の継承につながると思う。(一九六字)

・表記、字数が適切であるか。
・内容(問題文を良く読んで、死の思いを忠実に伝えることが不可能に近いにもかかわらず、可能に近づけるにはどうすればいいのかについて考えているかどうか)